

第173回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年2月9日（木）15：45～15：53
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日の新規陽性者数は、488人です。

1月17日から23日連続で前の週の同じ曜日を下回っております。

次に、4ページ。

8日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、166人です。このうち、重症者が0人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は209人となっております。

宿泊療養施設入所者数は、81人となっております。

病床等の状況についてでございます。

感染の著しい拡大に対応するため、一部の医療機関において、臨時的に病床を拡充しておりましたが、現在の確保病床使用率等を踏まえ臨時拡充を終了いたします。

これにより、即応病床数及び確保病床数は本日（2/9）より770床から766床へ4床減となります。

さらに、一般医療との両立を図るため、即応病床について、669床への移行に向けて、調整を開始いたします。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、205.00人。

1月30日以降200人台で推移しております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、21.6%。

20%台前半で推移しており、レベル1の水準となっております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、0.0%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、3,098人となっております。

インフルエンザが流行期に入っておりますことや「保健医療の負荷の状況」等を総合的に勘案すると、引き続き「レベル2」と考えております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

【資料3】

2月7日時点の接種実績については記載のとおりになります。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、

累計で、953,550回、全人口に対する接種率は、全国における接種率42.6%を9.2ポイント上回る、51.8%となっております。

次に資料はございませんが、昨日(2/8)、「厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会」が開催され、新型コロナワクチンについて、2023年度の接種は、全ての年代の方を対象に、接種の機会を確保することが望ましく、秋冬に次の接種を行うべき等との方針案が了承され、さらに具体的な内容については、年度内に結論を得ることとなっております。

県といたしましては、今後の議論の動向及び、ワクチンを巡る国の対応を注視するとともに、新型コロナワクチンをできるだけ多くの方が接種できるよう、引き続き接種促進に取り組んでまいります。

(金光教授)

感染者数、あるいは病床利用率は減少してきています。

ただ、感染者数の減少の減り幅は、どんどん小さくなってきています。

少なくとも今後減少の一途をたどるということは、あり得ないと考えています。

残念ながら必ず増加に転じることになるかと思っております。

そして、そのときの増加率に影響を与えるのが、我々がどこまで感染対策出来ているか、感染対策の遵守率、そういったものが、数字として現れてくると考えています。

ですから、「減少しているから、もう感染対策はいい」という考えは間違っているということを申し上げたいと思います。

(知事)

はじめに、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

全国の新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を下回る日が続き、1万人台の日も見られるなど、減少傾向が続いています。

本県でも、1月中旬以降、新規陽性者数は減少傾向にあり、2月に入ってからには千人を下回る日が続いています。

改めて、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力に深く感謝を申し上げます。

しかしながら、県内の新規陽性者数は、昨年と同じ時期に比べて、多い状況にあります。

このため、引き続き、基本的な感染対策を徹底し、速やかにワクチン接種を行うほか、普段から体調をチェックして、家族に体調のすぐれない方がおられる場合には、家の中でも場面に応じてマスクを着用する、生活空間を分けるなど、気を緩めることなく、感染対策の徹底をお願いします。

また、全国ではインフルエンザの患者数が増加し、定点当たりの患者数が注意報のレベルを超えています。県内においても、流行開始の目安となる「1」を3年振りに超えている状況が続いています。

感染した場合に備えて、検査キットや薬などの準備を行うとともに、他の方に感染させてしまう可能性のある期間を把握の上、感染拡大防止に努めてください。

また、感染対策は、新型コロナもインフルエンザも同じです。基本的な感染対策に加え、症状がある時は外出しない、感染リスクが高い飲食時は、「短時間」で、「大声での会話を控える」など、感染リスクを下げるための取組をお願いします。

特に、換気の悪い密閉空間では、感染リスクが高まります。暖房器具を使用しながら換気を行う、窓を少しだけ開けて室内の温度を保ちながら換気をするなど、感染リスクを下げる工夫をお願いします。

また、この季節は屋内で過ごす時間が多くなります。屋内でのマスクの着用は基本的な感染防止対策として重要です。人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合などを除いて、正しくマスクを着用するようお願いします。

新型コロナウイルスの新規陽性者数は減少傾向にありますが、感染の再拡大を防ぎ、御自身や大切な方の命を守るためには、新型コロナやインフルエンザの新たな感染者数を減らすことが重要です。

引き続き、基本的な感染対策の徹底に、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力を

よろしくお願ひします。